



# 登り藤

令和8年2月14日（土）発行  
令和7年度 第13号  
江戸川区立南葛西第二中学校

## 開校40周年を迎える令和8年度に向けて

校長 古澤 浩一

南葛西第二中学校では、本年度の成果と反省を踏まえ、令和8年度の教育課程の作成を進めています。令和7年度は「江戸川区教育課題実践推進校」の2年目として、令和6年度の研究実践の成果のもと、「魅力ある学校づくり」をテーマに、第3学年の『プラス1クラス制』をはじめとした、実践に基づく研究を積み重ねてきました。

現在、開校40周年の節目を迎える令和8年度の教育課程を作成するなかで、年間の行事予定等についても3月下旬にはおおむねまとまることとなります。コロナ禍を経て、見直すところは見直し、精選することを通じて、「魅力ある学校づくり」「働き方改革」「部活動改革」をふまえた生徒本位の教育課程になるよう、検討を重ねているところです。

学習指導要領では、「一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになる」ために必要な教育の在り方を具体化する教育課程の作成が求められています。そして、本校ならではの「学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成すること」「組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと」が求められているところです。

本校の学校教育目標は、『国際社会に貢献できる人間の育成を目指して・人権を重んじ自他を敬愛する（礼儀）・自主自律の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る（自律）・心身を鍛え、個性の発揚を図る（自律）・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する（開拓）』と掲げられています。校歌『君よ世界の』にも歌われていますが、「我等の心 誇りあり」「我等の力 限りなし」「我等の歩み 弛みなし」との気概をもって国際社会に羽ばたくことのできる力を育むために、さまざまな取組を中長期的な見通しをもって教育課程に盛り込んでいくこととなります。

令和8年度の授業時数（授業のコマ数とも言われます）については、江戸川区では上限を「1086時間を超えない」と定めています。令和7年度は土曜授業日に給食を提供して振替休業日をおこことしておりましたが、令和8年度の在り方については検討を重ねているところです。

なお、文部科学省が示す標準授業時数は1015時間（週あたり29コマ×35週）ですが、学校行事・定期考查期間や個人面談週間などの授業カットを踏まえると、学校独自に学校行事等に使える自由な時間はあまり多くはないのが現状です。授業時数の確保と学校行事の準備も含めた学校運営のバランスは引き続き課題となっています。引き続き「学校行事に係る負担の軽減」「教育上真に必要とされるものに精選」「行事間の関連や統合を図る」といった『令和型の学校行事』づくりの推進を模索していく必要性を感じます。

保護者の皆様、地域の皆様からの声は、すぐに見直しができること・全体の中で方向を考えていくことなど、多岐にわたりますが、本校の将来に向けた有意義な提言として、ありがたく受け止めております。皆様のお声を次年度の教育課程に生かしてまいりますので、今後とも、魅力ある学校づくりに向けた提案等をお寄せいただけましたら幸いです。

令和8年度の教育課程は、3月末に江戸川区教育委員会が受理することで確定しますので、年間行事予定等については、確定をうけてお知らせをさせていただきます。生徒本位の新たな取組を検討するとともに、さらに「生徒に、保護者に、地域に、教職員に 魅力ある学校づくり」に資する教育課程を編成してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



現行学習指導要領



ボランティア部が育てている菜の花が咲いています

## ◇ 今後の部活動のありかたについて

部活動は、文部科学省『中学校学習指導要領』では「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。」とされています。文部科学省・スポーツ長も令和8年度より「改革実行期間」になることから、「部活動の地域展開等は、地域の様々な関係者が連携・協働し、子供たちにとってより良いスポーツ・文化芸術環境を未来へ繋ぐ取組」として、呼びかけをしています。



また、東京都教育委員会は「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン（案）」及び「東京都における中学校の部活動改革に関する推進計画（案）」を策定しました。（左のQRコードから閲覧できます）

本校では「改革実行期間」において、すでに外部指導員を招聘しての取組を進めてきたところですが、なお生徒数に比べて部活動開設数が多くなっており、各部活動の存続・維持には、地域展開や開設部活動の精選が必要になっています。

さらに、運動部活動の各競技を専門的な指導を実施できる人材は十分ではありませんし、年度ごとに不安定な状況が続くことが想定されます。このため、学校の部活動に関する地域展開（地域移行）を目指して、外部指導員による指導や活動日数の絞り込みを進めております。

「指導できる教職員次第の部活動」「教職員主導の部活動」からの脱却を図り、長く持続可能な新しい形を模索し、ひいては設置部活動数の確保や微増につなげ、生徒にとって生涯の趣味ともなるようにスポーツや文化、科学等に親しませる可能性を高めていくことを検討しています。

そこで、令和8年度からの「改革実行期間」にあたる部活動の設置については、いっそうの外部人材の活用等の地域展開を進めることにより、生徒の「自主的・自発的な参加と運営」「地域・外部機関の人材の活用」「活動時間・活動内容の工夫」「レクリエーション志向の生徒への配慮」を進めてまいります。

本年度は「ダンス部」等の新設に向け、外部指導員予算の確保をするとともに、外部機関や地域の皆様との協議を進めましたが、年度内の開設には至りませんでした。

次年度以降の部活動については、現在の生徒の在籍の有無にとらわれず、勝ち負けにこだわらずに運動に取り組む「ゆる部活」や文化部の拡充を含め、今後の持続可能性や外部指導員の確保の状況も参考にして開設していくことになります。

新しい部活動の形への移行が社会的要請とされていることについてご理解いただき、外部指導員についてご推薦いただく等、部活動改革についてご支援いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。



部活動改革ポータルサイト

## 卒業者数・生徒数等について

<南葛西第二中 いまむかし>

南葛西第二中学校の卒業者総数は本年度末で6500名を超えます。

ちなみに、卒業者数が最も多かったのは、平成12年度（2000年度）の252名。当時の全校生徒数は730名、全20学級と記録にあります。入学者数もそれだけ多かったということになります。

開校40周年を迎える令和8年度は、全校生徒数およそ300人・全9学級となる想定で、教室等の準備を進めているところです。

## 3月末までの主な予定

16日(月)振替休業日	
17日(火)生徒会朝礼・学習展示会終	3月5日(木)中央委員会
18日(水)校内研究授業(5校時 1年2組)	3月6日(金)ESAT-J YEAR1、YEAR2 実施日
21日(土)都立高校第一次募集入学者選考	3月9日(月)生徒会朝礼
25日(水)～27日(金)学年末考査	3月12日(木)薬物乱用防止教室(3年)
3月2日(月)全校朝礼・実力テスト(1・2年)	3月19日(木)卒業式
3月3日(火)安全指導・専門委員会	3月23日(月)保護者会
3月5日(木)給食運営委員会・学校保健委員会	3月25日(水)修了式

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧になってください。→

